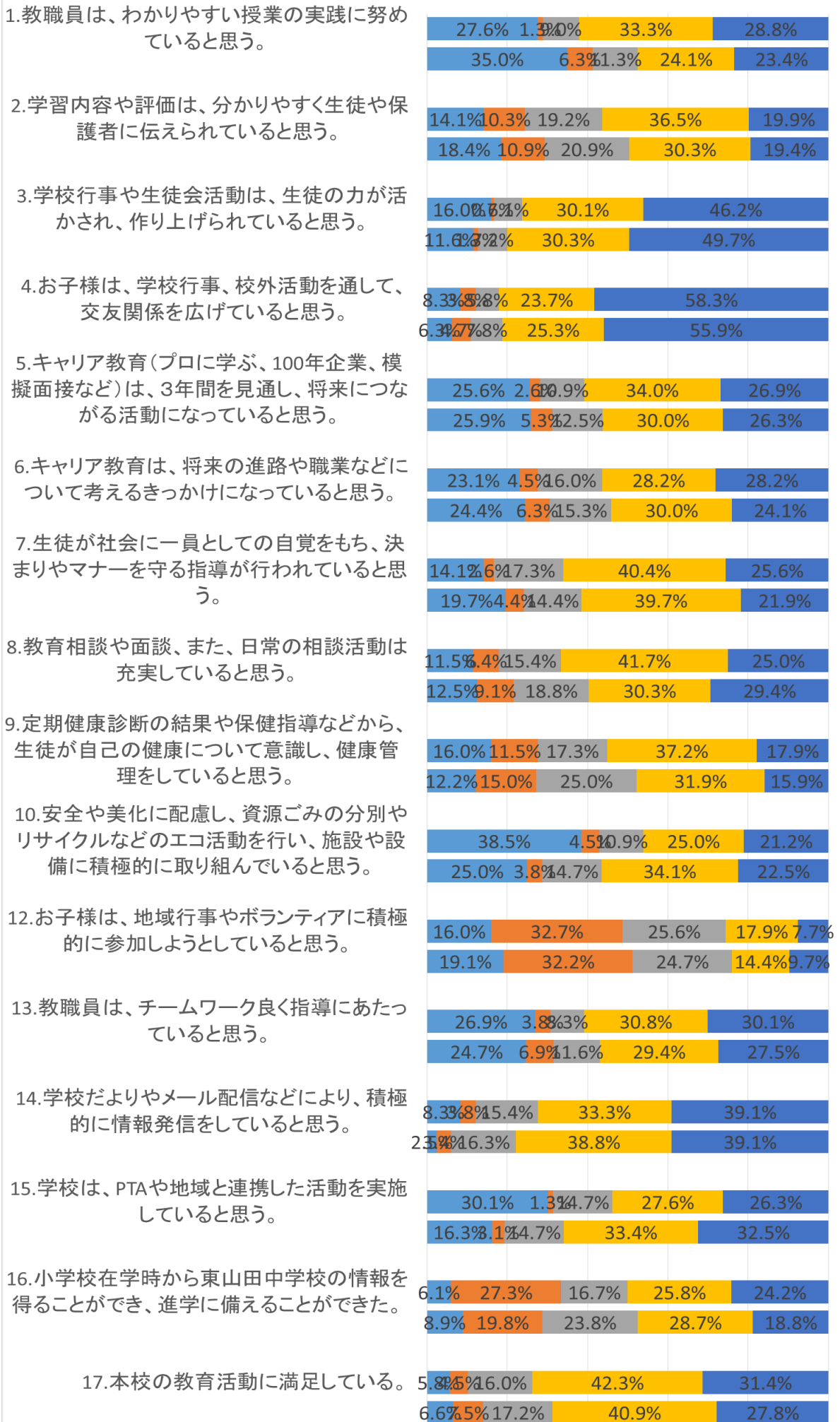


保護者アンケート全体結果 (上段:令和4年度 下段:5年度)

■ わからない ■ 思わない ■ やや思わない ■ やや思う ■ 思う

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<保護者アンケートより>

※今回は320人の保護者の方からの回答となりました。今年度は学校だよりにアンケートのQRコードを入れ、回答していただく方法で行いました。面談期間中に教室や下駄箱付近にQRコードの紙を掲示させていただきましたが、回収率がかなり低かったので、メール配信を行い、回答期日を延ばさせていただきました。来年度に向け、アンケートに答えやすく、多くのご意見がいただけるよう、改善をしていきたいと思ひます。

●**項目3・4**では、「思う・やや思う」を合わせた割合が80%程度になりました。また、**項目10**では、昨年度よりも「思う・やや思う」を合わせた割合が10%ほど伸びました。コロナでなくなっていたゴミ箱の再設置（美化委員）、ホッカイロリサイクル（福祉委員）など、委員会活動が活発になったり、体育祭の種目を増やして午後まで行ったりするなど、感染症対策を行いながらの活動ではありましたが、昨年度以上に生徒の活躍の場を広げることができた結果だと考えます。各行事では、家ではみられない子どもたちの将来を見ただけだと思ひます。しかし、今年度は感染症の急拡大などもあり、対応に追われることもありました。来年度に向け、今一度活動内容を見直し、よりよい教育活動ができるようにしていきたいと考えています。

●**項目5・6**のキャリア教育に関しては、現在過渡期であり、コミュニティハウスの方々や地域の方の協力を得て、活動しています。昨年度からコロナ前の活動と大きく変更し、前年度の反省を踏まえ、活動の改善をしています。3年の模擬面接に関しては、今年度からほとんどの公立高校で面接はなくなりましたが、生徒の今後の生活の中で、面接を受ける機会は必ずあると考えています。入試の枠を超えて子どもたちの将来を考えたときに、面接の知識を増やすことや3年間の自分の中学校生活を振り返る活動は重要であると考え、継続をしています。今後も検討を続け、よりよい活動にしていきたいと思ひます。

●**項目8**の相談活動に関しては、昨年度よりも「思わない・やや思わない」を合わせた割合が増加しました。昨年度は面談で成績を渡し、その後に教科相談日が設定されていましたが、今年度に関しては、学期最終日に成績を渡すようになり、保護者の方が相談できずにいた結果だと感じております。次年度は、相談日程日の確保などを検討していきたいと思ひます。

●**項目9**の健康管理に関しては、昨年度に比べ、「思わない・やや思わない」を合わせた割合がかなり増えた結果となりました。10月、1月と感染症が急拡大し、学級閉鎖などもあったことが原因だと考えています。手洗い・うがいなど、感染が拡大しないような呼びかけや、学校だより・保健だよりなどを通して、学校の状況を保護者の方に伝えるなど、工夫をしていきたいと思ひます。

●**項目13**では「思わない・やや思わない」を合わせた割合が増えました。生徒の活動が増えるにつれ、さまざまな対応が増えたことはありますが、職員同士も報告・連絡を密に行い、気を引き締めてチームとして指導にあたる重要性を感じています。

●**項目15**に関しては「思う・やや思う」を合わせた割合が10%以上伸びました。今年度は東Pフェスタを行うことができました。久しぶりの活動ということもあり、PTAの方や地域の方、保護者の方にはたくさんご支援していただきました。本当にありがとうございました。しかし、「思わない」というご意見も増えていることにも着目し、PTAや地域に「お任せ」するのではなく、「連携」を重視した活動を実施していこうと思ひます。

●項目 16 では、「思う・やや思う」を合わせた割合が減っていました。前年度まではプリント・資料配布で行っていた新入生説明を、今年度は動画配信で行おうと考えています。ご家庭で動画を見ることで、聞き取れない内容などが少なくなると考えています。今後も新入生が安心して入学できるような対策を考えていきたいと思っております。

※項目 11 に関しては、今年度から追加した項目になるので、比較する形ではないグラフになっています。

※全体的に昨年度よりも「わからない」の割合が増えた結果となりました。学校自体はコロナ前の活動に戻り、保護者の方の来校の機会も増えてきてはいますが、まだまだ情報発信が少ない結果だからだと思っております。子どもや学校の活動のようすをより発信することを心掛けていきたいと強く感じております。

#### 学校評価 保護者アンケート 自由記述

##### ○教育課程について

- ・指導の方針を分かりやすくして欲しい。生徒が学校生活を充実できるようにしてほしいです。
- ・プリント類はメールなどで送るようにしてほしい。紙だと手元に届かないことが多い。
- ・わかりやすい授業の実践については、教科によるため、各教科毎に質問してくれないと答えようがないと思う。
- ・学習内容評価も担任の先生の教科の場合は面談で細かく聞けるが、それ以外の教科はどういう経緯でそのような評価になったのか分かりにくい。
- ・子どもからの情報が届かないことがあるので、メール配信などでお知らせいただけるのは、とても助かります。
- ・授業参観では先生方がどのように授業を進めているか普段の様子を見たいと思います。
- ・病気などで欠席した時の授業に使用したプリントなどは必ず配付してください。
- ・災害時における危機意識が低い気がします。

各種説明会や懇談会や面談で育てたい子ども像を保護者の皆様と共有し、自主・自立の精神で物事に主体的に挑戦できる子どもを育てて行きたいと思っております。教職員も指導の方針を統一し、子どもに寄り添った指導を心がけ、子どもたちが安心して通える学校を目指してまいります。時には、厳しく指導する場面もあると思っておりますが、学校・家庭が同じ方向を向いて指導できるようにしていきたいと思っております。学校からも ICT を利用し、必要な情報（欠席連絡・課題・進路情報等）発信を丁寧に行いたいと思っております。

防災訓練は学期に 1 度は必ず行い、小中ブロックで合同引き取り訓練を行い、地域の防災訓練にも担当職員が参加しています。今後も、危機意識が下がらないよう防災教育を進めてまいります。

○生徒指導について

- ・もうすこし個人の個性を大事にしてほしいです。
- ・先生方が子供に遠慮しているように見えます。もっと熱く子供に接してもいいのではないかと。
- ・先生方にはいつも熱心にご指導いただきありがとうございます。今後もよろしくお願ひいたします。
- ・いつもありがとうございます。
- ・子どもたちへの声かけを丁寧にしてほしい。子どもたちが先生を信頼し、頑張ろうと思える授業をしてほしい。
- ・子供からよく先生方の楽しくて熱い話を聞いています。
- ・いつもありがとうございます。
- ・特にありません。ご指導ありがとうございます。
- ・いつもお世話になりありがとうございます

誰もが安心していきいきと通える学校を目指して指導しております。ご指摘いただいたように多様性の時代で、個々の価値観も多様になっています。一人ひとりの良さを認め、自分も他人も大切にできる子どもを育てたいと教育活動を進めています。各御家庭それぞれ教育に対する価値観も違いますが、その中で子どもに寄り添い、その子にとって何が良いか最適解を保護者の皆様と見つけながら今後も指導してまいります。そのためには、保護者の皆様の御理解と御協力は不可欠です。気になることがあれば、学校の教職員に御相談ください。

### ○教科指導・評価について

- ・定期テストの平均点を出して欲しい。学習でどこを頑張るべきかを示して欲しいと考えています。
- ・生徒皆のレベルで考えて授業を進めて欲しいです。
- ・生徒向けには教育相談があるが、希望者は親も含めて確認する機会があればありがたい。
- ・テストをノーマルにして下さい。
- ・面談について。1年生のうちから授業態度や取り組みなど、内申評価の内容が分かるように説明して頂きたかった。3年の面談は内容が充実しているが、12年でも高校受験へ繋がる面談内容にして欲しい。高校受験の方法、志望校の決め方など、2年生のうちに説明が欲しい。塾頼みにならないようにお願いします。
- ・定期テストの内容・出題範囲・評価の基準を明らかにして欲しい。

各教科で、目標に準拠した評価を行っています。集団の中での相対的な位置を測る評価（相対評価や偏差値での評価）は行っていません。つまり、平均点を用いた評価は行っていません。また、定期試験の点数のみで成績をつけてはおりません。

そのため、各教科の目標や目標の達成度合い、目標を達成するための手立て（評価規準や評価方法）を子どもたちに丁寧に説明することを今後も重ねておこなっていきます。各教科で、学習のまとまりごと（各単元）に評価規準・評価の仕方を今後も説明していきます。また、目標を達成するための具体的な指導・助言を心がけていきます。“**新しい観点に主体的に学習に取り組む態度**”が加わり、**生徒自身が主体的に自らの学びを調整し継続的に学習に取り組む態度**が評価項目になっています。生徒が主体的に学びに向かえる授業を教職員は目指しています。

また、疑問点がございましたら教科の担当にご相談ください。

### ○PTA 活動について

行事が充実している分、PTA 本部の方の負担が多く感じられました。フルタイムで仕事を持つ保護者でも、職場やその家族にも負担をかけることなくできる範囲の活動になると良いと感じました。

PTAは、保護者と教職員が協力して子どもたちの健やかな成長を支え合うことを目的に、その趣旨に賛同する保護者と教職員によって運営される任意の団体です。子どもたちの健やかな成長を支え合うことに反対される方はいないと考えています。

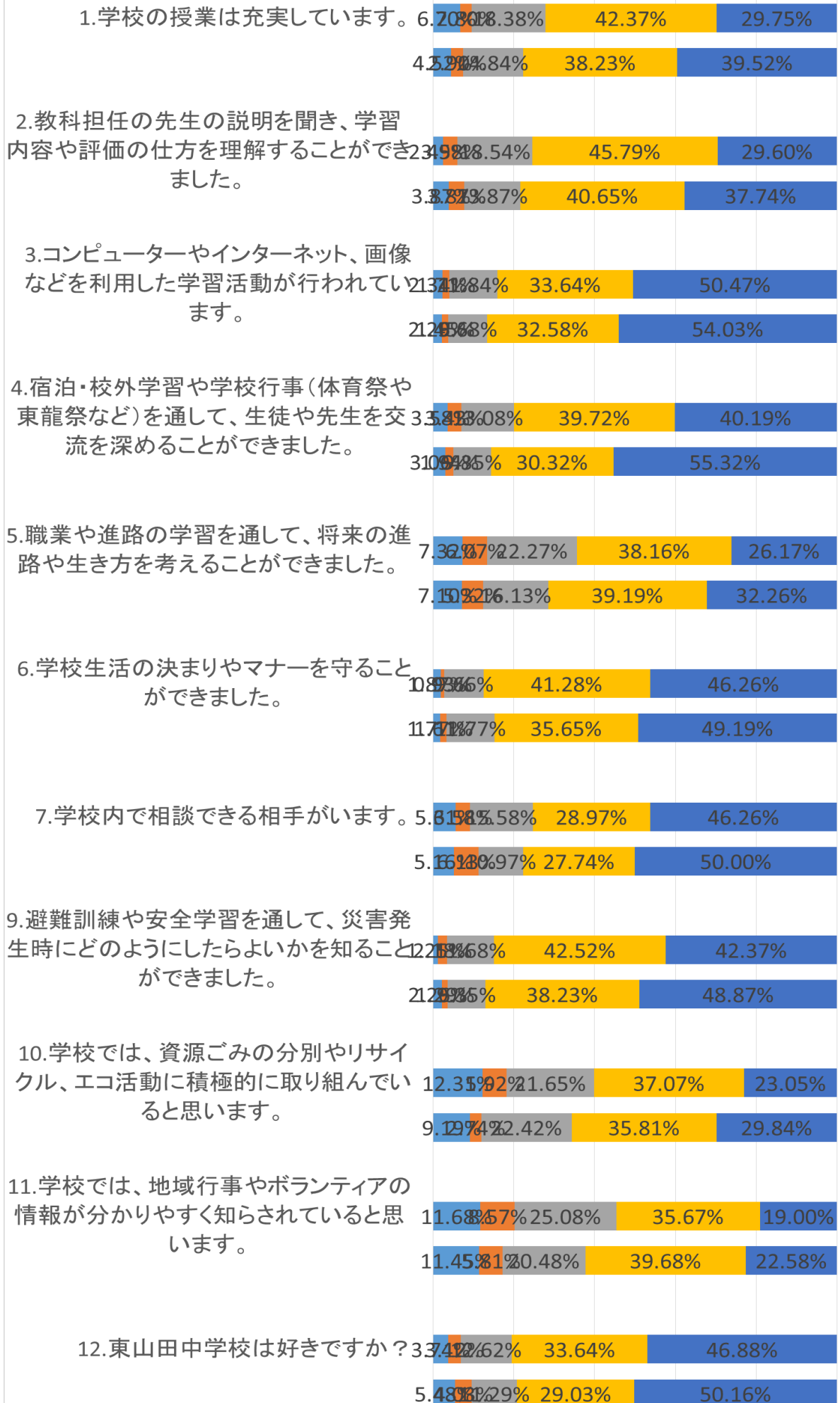
ただし、社会情勢も日々変化し、ご指摘のように保護者の方の生活スタイルも大きく変化しています。今の時代に応じた活動を役員の方と協議しています。無理なく負担なくできるボランティア制ができないか検討しております。

今後も子どもたちの健やかな成長にお力添えいただけますようお願いいたします。

生徒アンケート全体結果 (上段:令和4年度 下段:5年度)

■ わからない ■ 思わない ■ やや思わない ■ やや思う ■ 思う

0% 20% 40% 60% 80% 100%



#### <生徒アンケートより>

- 項目3**では、「思う・やや思う」を合わせた割合が昨年度と比べると伸びています。授業内でChromeでの取り組みが増え、委員会活動にも活用の方が広がってきている結果だと考えています。
- 項目4・5**では、「思う・やや思う」を合わせた割合が増えました。コロナが5類になり、活動や学校行事などの活動制限がなくなったことで充実した活動となったためと思われます。今後、生徒にとって成長の機会となるような活動がさらにできるよう、職員一丸となって頑張っていきたいと思っています。
- 項目6**では、「思わない・やや思わない」を合わせた割合が昨年度から2.8%増えました。理由としては、久しぶりに標準服登校になり、制服を着るときのルールが分かっていなかったり、着替えの時間ができたことによる2分前着席が厳しくなったりしたことなどが考えられます。制服を着るときのルールの周知、そして、着替えの時間の確保ができるようにしていきたいと思います。
- 項目7**では、「思う・やや思う」を合わせた割合が昨年度よりも多少伸びたものの、「思わない」も増えた結果となりました。今年度から、長期休み後の相談活動の初日は、諸活動なしで行い、落ち着いた状況の中での相談活動ができるように設定しました。しかし、生徒の活動（行事・部活・委員会など）が広がることで人間関係の悩みが増えたり、公立高校入試の方法の変更による不安も増えたりしているのにも関わらず、なかなか相談できる環境ができていないということが要因だと考えられます。今回の結果を受け止め、生徒との信頼関係や話を聞く姿勢、安心できる環境づくりなどを改めて考え直さなければならぬと強く感じています。
- 項目10、11**では、昨年度よりも「思う・やや思う」を合わせた割合が増えました。委員会活動も増えたことで、リサイクル・エコ活動に取り組んだり、お祭りなどの参加も増えたりした結果だと感じています。

#### <生徒と保護者のアンケートの比較から>

- 項目1・2**に関して、生徒の「思う・やや思う」を合わせた割合が80%弱だった結果に対し、保護者の方の結果が50%弱となり、大きな差がありました。この数年で観点変更や指導内容の改定もあり、今年度からの入試制度の変更など、過渡期に入っています。子どもからの情報が保護者のほうにあまり入らず、学校のように見えない分、不安を大きく感じ、子供との差になってしまっていると感じています。4月にある評価・評定説明会や成績配布後の教科相談日などをより充実したものになるように検討していきたいと思っています。
- 生徒アンケート項目12・保護者アンケート項目17**では、生徒は80%ほど、保護者の方は70%ほどが満足してくださっているとなっていますが、どちらも昨年度よりも「思わない」が増えています。行事・学習内容や評価の仕方・入試関係など、多くのことが変わってきているからこそ、否定的なご意見にも目を向け、参考にする必要があると強く感じています。学校と家庭が同じ方向に向かってお子様の成長につなげていけるようにしていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。